

益田圏域の「在宅医療の現状・課題・施策の方向」

	現状・課題	施策の方向
益田	<p>○管内の訪問看護ステーションが6か所あるうち、鹿足郡は1か所と少ない状況です。</p> <p>○高齢化に伴い、心不全や腎不全等の慢性疾患、老衰の看取り等の対応が増加しています。</p> <p>■今後も80歳代以上の高齢人口は横ばいで、医療・介護だけでなく移送や買物等、生活全般の支援が必要です。</p> <p>■遠方に住む家族は、独居が難しくなると施設入所希望をする傾向にあります。本人の意思決定を尊重した終末期のあり方を一緒に考えることが必要です。</p>	<p>①訪問看護ステーション協会と連携を密にし、現状把握や共同した研修会を企画実施します。</p> <p>②高齢者の慢性疾患（心不全・腎不全等）や生活習慣病の管理について、医療介護関係者と支援のあり方（意思決定支援等）について検討します。</p> <p>③市町の医療・介護連携事業、地域支援事業と連携し、住み慣れた地域で最期まで過ごせる地域づくり（地域包括ケアシステム）の構築を図ります。</p> <p>④元気なうちから、本人家族と終末期について話し合っておくACPの啓発を継続します。</p>

益田保健所の活動

高校のキャリア教育支援
 益田圏域心不全管理プロジェクト
 糖尿病関連腎症対策の推進
 支え合いフォーラム
 ACP意見交換会

住民の皆さんがやっておくべきこと

医療・介護連携における情報通信機器の活用

→スマホの操作になれる ex) テレビ電話機能、リモート会議機能

在宅療養患者の服薬支援

→マイナカードで受診

口腔ケア、栄養摂取、生活機能維持向上

→口腔ケアの実践、低栄養防止を意識した食事、百歳体操等に
参加

急変時の対応

→急変時の不安について事前理解～不安の根源は？

ACP（アドバンスケアプランニング）の普及

→人生会議の研修参加